

合格おめでとうございます

心理学を楽しんでください

心理学科学科長 川崎 直樹



合格おめでとうございます。私たちが、学生の皆さんといちばん共有したいことは、「心理学は、面白い！！」ということです。

動物の行動と比べて人間の行動について学んだり、錯覚を通してモノの見え方を知ったり、子どもから高齢者までの心の成長を明らかにしたり、他人の気持ちが「わかる」と感じられるのはなぜなのか探ったり、悩んでいる人をどう支えたらいいのか追及したり、その領域はさまざまです。

人間のすること、すべてが心理学の対象です。他者のすること、そして自分のことに「なんでだろう？」と疑問を持てる方でしたら、心理学を楽しめると思います。「心」を科学的に探究する知識と技術を身に着け、社会の課題に力強く取り組む人へと成長していってもらえたらと思います。皆様のご入学をお待ちしています。

日常に起こること、そのほとんどが心理学の題材 藤崎 和香

「どうして自分はこのドリンクを選んだんだっけ？」、「なぜ電車ではみんな端の席から座るの？」といった、日常生活で感じる素朴な疑問のほとんどが心理学の題材です。みなさんには、心理学科での学びを通じて日常で感じるさまざまな疑問を科学的な手法を用いて解明していくことの楽しさを知っていただけたらと思います。



心について考える 堀江 桂吾

例えば文学作品や映画、演劇に触れて、心の揺れ動きにじっと耳を傾ける。あるいは、家族や友人と言葉を交わして、自分とは違う人の心について想像する。日常生活の中で、あらためて立ち止まり「心について考える」機会を作ってみてください。



心理学科オリジナル Web ページ

心理学科オリジナル Web ページは、在学生と教員によって発信されています。大学の公式ページとは異なった角度から心理学科のことが分かる Web サイトになっています。

普段の授業風景や学生生活の様子ほかに、学科で取得できる資格、初心者向けの心理学コラムなども載っていますので、ぜひ一度ご覧ください。



学科ブログ
教員一覧
ゼミ紹介
授業風景
資格
心理学コラム
心理学科の会

日本女子大学 心理学科 オリジナルWebページ



心理学の本を読みたい皆さんへ

「図説 心理学入門」

齊藤勇 編



心理学入門書としてポピュラーなものです。心理学全般についての基本的な知識が得られるようにビジュアルにわかりやすく説明した入門書。

「ゼロからはじめる心理学・入門」

金沢創 著



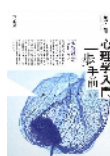
誰もがもつ素朴な疑問から読み進められます。読んで・見て・考えながら学べる工夫が満載。

目に見えない「心」を科学します。

☆本学教員の著書です。

「心理学入門一歩手前」

道又爾 著



心理学は何を、どのように研究するのか？

多くの学生が入学後に気づくイメージと実態のギャップを埋める心理学を学びたい人への必読書！

「心理学ってどんなもの」

海保博之 著



まずは心理学について大雑把に知りたい方に。大学では何を学ぶのか、どんな進路や資格があるのか、心はどこまでわかったのかなどの疑問に答えます。

「実践に役立つ臨床心理学」

塩崎 尚美 著



臨床心理士への道しるべとして、実践現場での諸理論、仕事の現状、今後の課題を明確にした理論と実践を繋ぐ入門書。

☆本学教員の著書です。

「感情の「みかた」」

堀越 勝 著



“不安”や“悲しみ”や“怒り”などのネガティブな感情が私たちに備わっている理由やその付き合い方について考えます。少しでも変わりたい方にこそ読んでほしい一冊です。

「自己カウンセリングとアサーションのすすめ」

平木典子 著

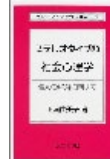


自分の気持ちを大切にすること、それを他者に向けて表現することについて考える本です。

無理なく前向きに生きる術を紹介します。

「ステレオタイプの社会心理学」

上瀬由美子 著



「女性だから」「関西人だから」など聞いたことはありませんか？具体的な研究例をもとにステレオタイプについて解説する本学で心理学を学んだ卒業生の著書です。

「脳のなかの幽霊」

S.ラマチャンドラン,S.ブレイクスリー 著



切断された手足がまだあると感じる患者の例などから脳のしくみや働きについて考え、人間の「意識」に迫ります。高度な内容ですが、わかりやすい切り口で解説します。

「木を見る西洋人 森を見る東洋人」

リチャード・ニスベット 著



文化が違えば、考え方も異なるでしょうか？それとも人はみな同じ？心理学者のニスベット教授が心理実験の手法を駆使して誰もがいただく疑問を解き明かします。

「なぜ、「あれ」が思い出せなくなるのか」

ダニエル・シャクター 著



「記憶」は心理学における重要なテーマの1つです。記憶と脳に関するさまざまな謎について、心理学や進化生物学から明らかにされたことをまとめた一冊。

「オオカミ少女はいなかった：心理学の神話をめぐる冒険」

鈴木光太郎 著



心理学には未だに多くの神話が残っています。たとえばアマラとカマラはそのひとつです。現在では誤りと考えられている心理学上のトピックについて丁寧に論じている貴重な一冊です。

「心理テストはウソでした：受けたらみんなが馬鹿をみた」

村上宣寛 著



多くの心理テスト・性格テストについて、それらに関わってきた著者が問題点を指摘。タイトルが派手で、本文も扇情的ですが、まじめで貴重な一冊です。

「脳科学は人格を変えられるか？」

エレーヌ・フォックス 著



ちよつとしたことですごく悩んでしまう人もいれば、なにがあっても明るく前向きな人もいます。こうした楽観性や悲観性の個人差がどこからきているのかを、科学的なアプローチで紐解きます。